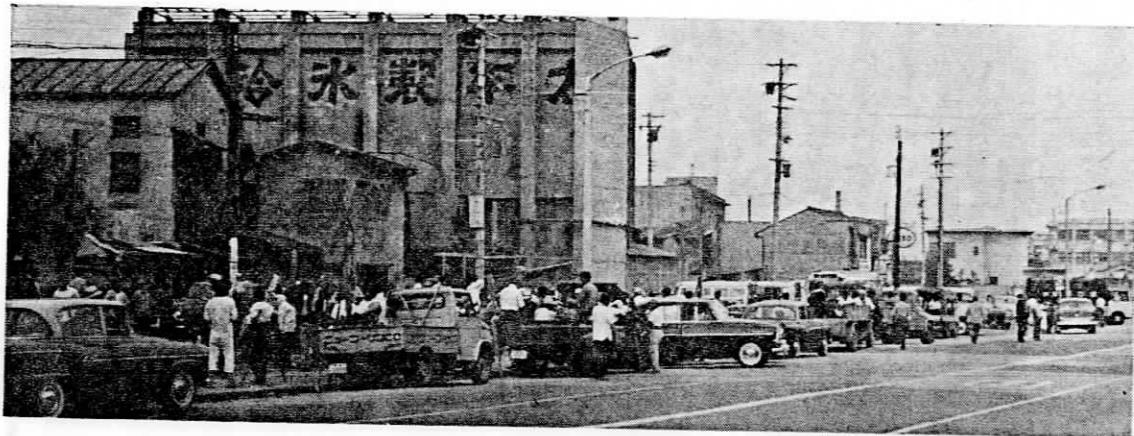


写真説明

左上 早朝、就労に集った労働者
 左下 労働者迎えのためののりもの
 右上 トラックで就労現場へ
 右下 朝の就労風景





労務者を現場におくるためのバス、タクシー、トラックの行列

昭和39年度事業 (予定)

I 職業紹介部

1. 求人開拓 約200件(会社、工場、事業所)を目標に、直接訪問、書面による依頼、連絡協議会組織等を通じ、求人運営を円滑にし、就労の増大をはかる。(前年度の実績150件)
2. 就労あっせん職業紹介
1日平均1,500名×360日=540,000名(前年度の予定・900名×360日=342,000名)就労あっせんから漸次に職業紹介に移行する。
3. 常用化の促進 100名以上を目標に、常用定職化をはかり、これを奨励するため、常用化される者には、常用第1月の生計援助費と仕度金を貸与する。
4. 日雇労働者健康保険の適用
1,000名の労働者を対象に、雇用者がわの協力を得て、同保険の適用を実施する。
5. 失業保険の適用 500名を目標とする。
6. 求職登録票の整備

38年度は約2,200名の登録を実施したが、本年度(39年)は新に1,000名を追加、登録カードを整備する。

II 職業・生活相談部

7. 職業相談 (月)300名×12月=3,600件
8. 事故相談 200 ×12 =2,400
9. 身上家庭相談 150 ×12 =1,800
10. その他の相談 300 ×12 =3,000

III 厚生部

11. 医療=現場(軽微)処置 (月)500名×12=6,000
12. 医療=病院(重症)処置 20名×12= 240
13. 健康診断 50 ×12= 600
14. 生活援助 100 ×12=1,200
15. 理髪援助 40 ×12= 480
16. 冬季あふれ援助 100名×5日=500
17. 貯金の常設 200名×12月=2,400

庶務日誌 (昭和38年度)

- 4月23日 大阪府庁内で執務していたセンター総務部は新事業所へ移転、落成開所式準備に着手する。
- 4月26日 昭和38年度理事会
- 5月12日 西成区東四条町の労働分室前で長雨のためあふれた労働者が投石などして騒いだので全職員で非常体制をしく。
- 5月13日 環境対策懇談会(於萩之茶屋小学校)
- 5月15日 落成ならびに開所式挙行、労働大臣(代理)大阪府知事、大阪市長(代理)、府市会議員、地元代表者、学識経験者、労働者代表ほか約250名参列した。
- 5月17日 長雨のため、仕事なく労働者の若干が騒ぎ出したので、非常体制でのぞむ。大阪府特別機動隊1ヶ中隊徹夜待機。
- 5月28日 環境対策委員会準備会
- 6月5日 中央職業安定監察官高山誠、府同監督官平田栄福氏ら視察
- 6月6日 環境対策委員会
- 6月10日 求職受付票の登録を開始
- 6月21日 労働者にコレラ予防接種とX線健康診断実施
- 6月22日 中馬大阪市長の本財団顧問就任承諾書受領
- 7月1日 分室撤去の件で東四条町会と懇談会。大阪市大教授岡村重夫氏見学
- 7月10日 大阪府議市本賀一氏視察
- 7月18日 分室撤去
- 7月19日 バスによる移動事務所、現場において業務開始
- 7月30日 大阪府議会商工労働委員・大阪府議宇治万之助、小畑一男、松井行造各氏ら視察、センター主脳部と懇談
- 8月1日 釜ヶ崎事件満2年の当日、宿直員増員、警戒体制
- 8月1日 朝日新聞大阪厚生文化事業団を通じ西浦画伯より100号絵画の寄贈を受く。東京浅草署長、山谷派出所警部ら視察。カリフォルニア大学リブセット教授、九州大学客員講師セオドル・ブラメルド氏、大阪アメリカ文化センター館長チャールズ・L・メッド氏、大阪市大・大蔵助教授ら来視
- 8月14日 東京都立大学竹内実教授来所
- 8月20日 日立造船労働組合支部より手動輪転機の寄贈を受く。
- 8月31日 社会福祉協議会近畿代表者約100名見学
- 9月7日 雇用主懇談会
- 10月14日 飯場連絡委員会合40名出席
- 11月16日 労働省副次官視察
- 11月18日 愛隣地区年末対策協議会
- 11月21日 毎日新聞大阪社会事業団を通じ大丸百貨店より中古衣料866点の寄贈を受く。社会医学研究会に出席
- 11月23日 たけのこ会、社大生7名来所
- 11月28日 年末対策のため西村浪速寮長、中野みなど寮長、吉村自強館長らと打合せ。
- 11月29日 中央職業安定審議会委員尾形公益者代表、森田使用者代表、加藤労組代表、野田労働省安定局業務指導課長ら視察、詳細な懇談を行う。
- 12月4日 西成区役所における年末対策委員会に出席
- 12月5日 阿倍野公共職業安定所労働事務官村地巖、森恒夫氏ら来所
- 12月6日 角田房子氏(評論家)来所
- 12月13日 毎日新聞大阪社会事業団を通じ、大丸百貨店より第二次中古衣料182点の寄贈を受く。西成署相談コーナー長大沼警部、救世軍高橋氏来所
- 12月14日 鏡高本財団理事来所、懇談
- 12月18日 大阪府庁において年末対策懇談会開催、府より中田労働部長ほか6名、本財団より松尾専務以下3名出席
- 12月26日 大阪府失業保険課適用係井上事務官視察、懇談
- 12月27日 大阪府中田労働部長、玉置業務課長、川西係長ら来所、懇談
- 12月28日 林本財団理事来所
- 12月31日 大晦日となり仕事が全然なくごく一部のあふれた労働者が投石する騒ぎあり
- 1月1日 前日につづき、予定の非常体制を3日まで継続。西成警察署は機動隊を動員して厳重警戒した。
- 1月13日 西成署和田警備課長と労働者のあふれ対策について打合せ。
- 1月14日 大阪府中田労働部長来所、打合せ。済生会西成病院院長滝谷寿人、事務局長得光忠士氏ら来所
- 1月16日 愛隣会館における西成地区医療社会環境衛生懇談会に職員数名出席
- 1月27日 西成警察署・府労働部懇談会
- 2月7日 安治川陸会懇談会
- 2月8日 大阪社会事業短期大学孝橋正一教授来所
- 2月13日 労働省職業安定局平松主任中央職業安定監察官、玉置大阪府労働部業務課長、仲谷課長代理、川西係長、平田監察官ら視察懇談。同日、労働省職業安定局失業保険課、葛西、村岡労働事務官ら視察。大阪公衆衛生協会医療補償研究会が阪大医学部で開催センターより専務以外3名出席
- 2月18日 東京都企画室柴田主査、愛隣寮長神谷氏来所、懇談
- 2月27日 鳥取県倉吉中部福祉事務所福祉課長市橋武氏来所



組 織

I 理 事 会

I 事務局 事務局長 松尾純雄

(1) 総務部 部長 小川礼二

職員 大瀬 誠

人見 貞三

中崎 隆夫

池田 万鯉夫

池田 和美

安見 和子

(2) 職業紹介部 部長 郡 昇作

職員 今村清吉

池 氷 寅雄

三塚 武男

橋本 正宣

正信 晃

积 智 徳

宇野 稔

細川 順正

庶務日誌追加分

- 2月28日 日雇労働者健康保険取扱実務講習会に職員16名出席 講師 木村正二氏
- 3月10日 上智大学教授カルロ・カルダローラ氏他3名来所懇談
- 3月20日 『裸の会』二周年記念文化祭、本財団後援のもとに開催
- 3月23日 府労働部より移動事務所用として大型車輛の無償貸与をうける。
- 3月30日 日本社会福祉大学山下輝夫氏来所

上 畑 恵 宣

山 上 仁

佐 藤 清 次

(3) 生活職業相談部

部長(兼) 郡 昇 作

職員 " 今 村 清 吉

" 高 木 千 代 吉

" 今 島 孝 道

" 人 見 貞 三

" 細 川 順 正

(4) 厚生部 部長(兼) 小川礼二

職員 高木千代吉

今島孝道

山口清子

退 職 者

昭和38年5月31日 太田 信江

同 8月15日 黒岩 律次

同 9月30日 佐々木 五郎

同 10月15日 高田 満

休 職

昭和39年1月31日 三森 千男



《労働者と子ども》

昭和39年4月10日 印刷

昭和39年4月25日 発行

(非売)

発行所 大阪市西成区東入船町23番地

財団法人 西成労働福祉センター

電話 641-0131 (代)

編集発行人 松 尾 純 雄